



JFA プリンスリーグU-18 2010



『高円宮杯全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会出場20チーム決定!』 2010.7.20

各地域上位最終結果

北海道

高円宮杯
出場枠
1チーム
大会期間
7/17迄

【上位チーム最終順位】	勝点	得失点
1位: コンサドーレ札幌U-18	19	20
2位: 室蘭大谷高校	19	14
3位: 旭川実業高校	13	9

プリンスリーグU-18北海道の全日程が終了し、『コンサドーレ札幌U-18』が『室蘭大谷高校』との激しい首位争いを制して優勝を果たした。また、高円宮杯へは4年連続9回目の出場となるが、昨年は1次ラウンドで敗退した。今年は決勝トーナメントでの躍進に期待が集まる。

東北

高円宮杯
出場枠
1チーム
大会期間
7/10迄

【上位チーム最終順位】	勝点	得失点
1位: 青森山田高校	28	43
2位: 尚志高校	19	23
3位: ベガルタ仙台ユース	19	10

プリンスリーグU-18東北の全日程が終了した。結果は『青森山田高校』が圧倒的な強さを発揮し、東北代表として8年連続8回目の高円宮杯進出を果たした。昨年の高円宮杯は決勝トーナメント1回戦で敗退。力のあるチームだけに、今年はさらに上位へ進出することが期待される。

関東

高円宮杯
出場枠
6チーム
大会期間
7/11迄

【上位チーム最終順位】	勝点	得失点
1位: FC東京U-18	29	14
2位: 流通経済大学付属柏高校	24	14
3位: 浦和レッドダイヤモンズユース	20	11
4位: 東京ヴェルディユース	19	12
5位: 三菱養和サッカークラブユース	17	4
6位: 横浜F.マリノスユース	16	8
7位: ジェフユナイテッド市原・千葉U-18	16	0

強豪ひしめくプリンスリーグU-18関東の全日程が終了。昨年の高円宮杯覇者、『横浜F.マリノスユース』は最終節で6位に滑り込み、高円宮杯進出を決めた。高円宮杯は3大会連続で関東のチームが優勝しているだけに、今年も関東勢の躍進に注目が集まる。

北信越

高円宮杯
出場枠
1チーム
大会期間
7/11迄

【上位チーム最終順位】	勝点	得失点
1位: 富山第一高校	27	23
2位: アルビレックス新潟ユース	20	7
3位: 星稜高校	19	15

すでに高円宮杯出場を決めている『富山第一高校』が最終節でも勝利で飾った。『星稜高校』と『アルビレックス新潟ユース』が独占していた高円宮杯出場権を10年ぶりに奪取した富山第一高校には、高円宮杯での活躍が期待される。

東海

高円宮杯
出場枠
4チーム
大会期間
7/10迄

【上位チーム最終順位】	勝点	得失点
1位: 清水エスパルスユース	21	18
2位: 名古屋グランパスU18	21	17
3位: 静岡学園高校	19	16
4位: ジュビロ磐田ユース	18	8
5位: 清水商業高校	11	-6

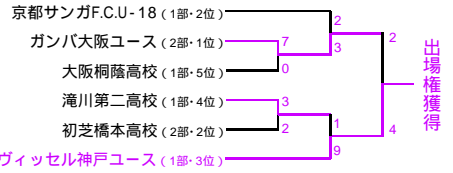
前節で高円宮杯出場チームが決まっていたプリンスリーグU-18東海の全日程が終了。東海代表チームはこの4年間、高円宮杯で毎年ベスト4に進出するものの優勝はできなかった。今年こそ東海勢の優勝を目指す。

関西

高円宮杯
出場枠
2チーム
大会期間
7/17迄

【上位チーム最終順位】
1位: セレッソ大阪U-18

【高円宮杯出場決定戦】



リーグ戦全日程は6/19に終了。1部リーグで優勝した『セレッソ大阪U-18』が高円宮杯出場権を獲得している。

『高円宮杯出場決定戦』は1部2~5位の4チームと2部の上位2チームによるトーナメント形式で行われ、セレッソ大阪U-18以外で高円宮杯出場権を獲得できるのはトーナメントで優勝した1チームのみとなる。

決勝戦にコマを進めた『ヴィッセル神戸ユース』と『ガンバ大阪ユース』との対戦は、ヴィッセル神戸ユースがガンバ大阪ユースに競り勝ち、高円宮杯出場権を獲得した。セレッソ大阪U-18は4年連続5回目、ヴィッセル神戸ユースは2年連続4回目の出場となる。昨年の大会では関西勢は不振に終わったが、今年は関西旋風を巻き起こすことができるのか、関西勢の躍進に注目だ。

中国

高円宮杯
出場枠
3チーム
大会期間
7/19迄

【上位チーム最終順位】	勝点	得失点
1部上位リーグ	勝点	得失点
1位: サンフレッチェ広島F.C.ユース	23	21
2位: 広島観音高校	19	1
3位: 立正大学瀬南高校	17	2
4位: 米子北高校	14	0

セカンドラウンドの最終節が終了し、『サンフレッチェ広島F.C.ユース』、『広島観音高校』、『立正大学瀬南高校』が出場権を獲得。昨年も3チームが決勝トーナメントに進出した実力のある地域だけに、今年は高円宮杯優勝への期待も高まっている。

四国

高円宮杯
出場枠
1チーム
大会期間
12/18迄

【上位チーム最終順位】	勝点	得失点
1位: 愛媛FCユース	21	22
2位: 松山工業高校	19	12
3位: 香川西高校	17	10

プリンスリーグU-18四国の前期日程が終了。『愛媛FCユース』は、チーム数の関係で最終節の試合がなかったが、前節で優勝を決めていたため、3年連続5回目の高円宮杯への出場権を獲得していた。過去2大会はいずれも1次ラウンドで敗退。今年こそは決勝トーナメントへの進出が期待される。

九州

高円宮杯
出場枠
1チーム
大会期間
7/10迄

【上位チーム最終順位】	勝点	得失点
1位: アビスパ福岡U-18	21	7
2位: 東福岡高校	19	2
3位: 大分トリニータU-18	18	10

稀に見る大混戦となったプリンスリーグU-18九州は、『大分トリニータU-18』との頂上決戦に勝利した『アビスパ福岡U-18』が優勝をおさめた。高円宮杯へは18回大会に出場しており、決勝トーナメントに進出したものの1回戦で敗れている。今年は前回出場した時以上の成績が期待される。



今後のスケジュール

8月1日(日)

adidas CUP 2010 第34回

日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会 決勝

8月7日(土) 高円宮杯出場全チーム決定

平成22年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会 決勝

8月11日(水)

組み合わせ抽選会

9月4日(土)

第21回高円宮杯全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 開幕

高円宮杯

全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会

PL 7/19迄 計20チーム	クラブユース 8/1決勝 計2チーム	インターハイ 8/7決勝 計2チーム
-----------------------	--------------------------	--------------------------

出場合計: 24チーム